現場の「かゆみ」に手が届く

ニッチな建機を積極導入

ニシオレントオール北海道

ニシオレントオール北海道（本社・大阪）は、現場のかゆいところに手が届くニッチな建機を積極的に導入している。最近は、バケットが手首のように動くボルボの油圧ショベルを札幌西営業所に配置。帯広営業所では走破性の高いスペイン製の4WDフォークリフトを導入し、牛舎の建設現場や酪農家などに使ってもらおうと考えている。

ボルボの油圧ショベル「ECR145EL」は、限られた現場スペースでも効率良く作業できる小旋回機。エンジンは頑丈で信頼性が高く、作業内容に合わせて重掘削や精緻など5モードから選ぶことで、生産性や経済性を高められる。

ニシオが導入した機体には、スウェーデン・SteelWrist社のチルトローテータを装備する。キャビン内の左レバーでバケットを360度回転させるほか、右レバーで最大45度傾けることができる。

ボルボが開発したICTシステム「DIGアシスト・インフィールドデザイン」も搭載。バケット爪先などで基準点をセットすることで、熟練オペレーター並みの仕事ができるマシンコントロール技術。キャビン内のタッチパネルから操作し、横断図と縦断図を作った後、高さを設定することで3D図面を現場で作成できる。

本州では、雨水貯水槽や調整池の設置工事などで効果を発揮した。札幌西営業所の西野啓登主任は「発注者の指示のもと、オペレーターがキャブ内で図面を作成するなど現場への即応性が高く、災害発生時の復旧工事などで活躍できる」とみている。

帯広営業所は、スペイン建機メーカーのAUSA（アウサ）による4WDフォークリフト「C250H」を配備。不整地に特化したフォークリフトで、悪路や傾斜地で高い走破性を発揮する。

エンジンは信頼性の高いクボタ製の水冷ディーゼルエンジン。キャビン内のジョイスティック1本で走行と荷役を操作する。後輪タイヤが動くことで曲がり、車両後方にカウンターウエートを内蔵しているため安定性が高い。

走破性が高いため、ユニックやダンプに積み替えたり乗り換える必要が無い。降雪路面でも走行でき、除雪することなく荷役作業を続けられるのは経済面や作業面でメリットだ。

帯広営業所の田巻峰暁所長は「牛舎や太陽光発電の建設現場のほか、牧草を運ぶ畜産農家に使ってもらいたい」と話している。

チルトローテータを備えたボルボの油圧ショベル

走破性の高い4WDフォークリフト

テラドローン

測量時間が大幅短縮

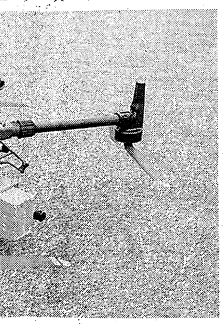
新型レーザードローン7月発売

産業用ドローンサービスのテラドローン（本社・東京）は、新型レーザ

る。2016年設立の同社は、空撮や測量などドロ

ているが、顧客からは「初期投資を回収できるか不安だ」「点群解析に手間が

来の数分から大幅増の20～30分計測が可能になったという。地形の3D点群データを植生があっても作成できるほか、計測漏れの有無を確かめるための簡易点群も着陸時すぐに作成可能だ。



品をベースとし、スキャナーにはLivox Technology（同）製品を採用した。

測量データを解析するクラウドサービスも年間40万円（税込み）で提供する。建物や植生などを含む点群であるオリジナルデータと、オリジナルデータから植生などを省いた点群であるグラウンドデータを、年に何度でも生成できる。

価格は

で初期投資を回収できる価格設定」とアピール。補助金の情報も提供する。

同社の強みは千数百件による測量サービスをこなしてきた経験だ。「培ってきたノウハウを顧客と共有できるため導入ハードルは他社より低いは

副業・兼業特化

人材紹介

ズ（本社・

TやウェブT

・兼業に特化

企業に紹介

を始めた。

む企業のD

・トランス

ョン）を支

サービス

ートナー」。

関する課題

と、候補と

業務提案を

マッチング

業務の実行

に進む。報

やスキルに

は月に数万

ほどを相場

DXを進

タル人材は

ず世界的に

しく、採用

している。

側にも非I

素材の

壁紙

サンゲツは

材の「KA